



名古屋市 消費生活センター

×

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

持続可能な開発目標

名古屋市消費生活センターは
SDGsの達成に向けた
取り組みを推進しています。

名古屋市

エス・ディー・ジーズ SDGs ってなに?

名古屋市消費生活センター
マスコットキャラクター
コアラのハッピー



経済・環境・社会をめぐる世界の課題を解決するために
世界各国が合意した、**2030年までの国際目標**です。
17の目標と**169のターゲット**が設定されています。

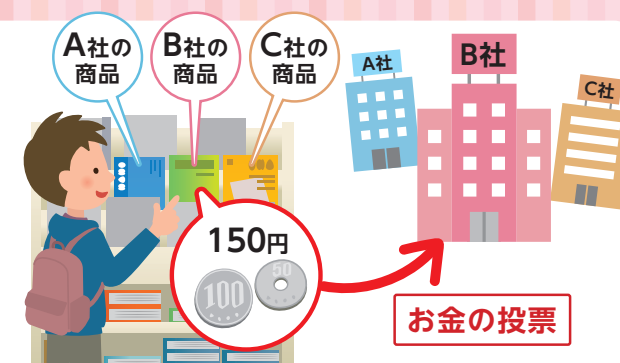
キーワードは
「誰ひとり取り残さない」



私たちはみんな「消費者」

私たち一人ひとりの消費行動(お金を使ってもものやサービス
を買うこと)は、より良い社会づくりに大きく影響します。
何を買うか、どんなサービスを利用するか、いろいろな情報
を集めて、よく考えて、選ぶことが大切です。

📢 **買い物は、お金による投票!**



消費生活センターは、安心・安全で豊かな消費生活を営むことができる社会の実現を目指しています

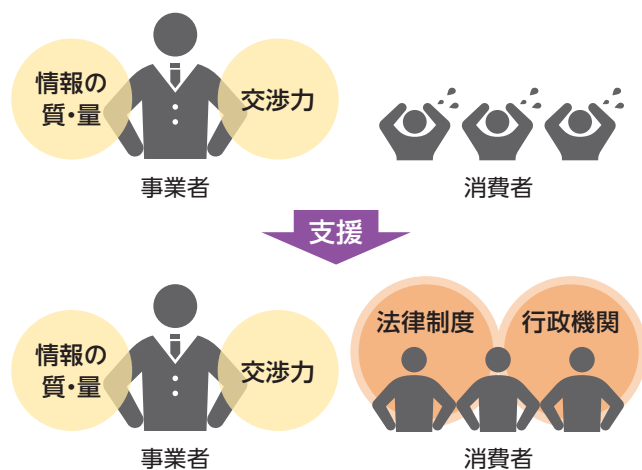
消費者トラブル(商品やサービスの契約・解約のトラブルなど)についての相談の受け付け、 消費者被害の未然・拡大防止及び救済

消費生活相談、くらしの安全・安心

主に関連するゴール



消費者と事業者(企業など)の間には 格差があります



弱い立場の消費者を支援するために、
制度や法律が整備されています

消費生活センターに相談すると...



相談することで、次の消費者被害を未然に防ぐことや、
消費者被害の拡大を防ぐことにつながります

主体性のある「自立した消費者」の育成

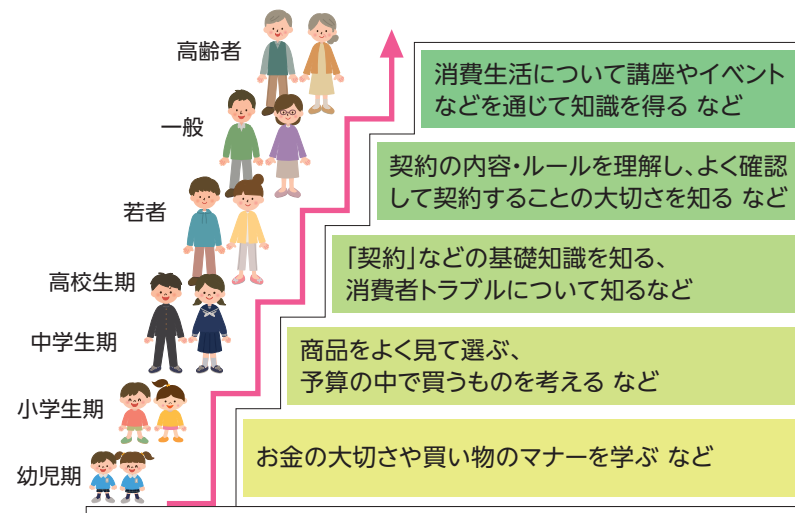
消費者教育・啓発

主に関連するゴール



ライフステージに応じた消費者教育を 推進しています

年齢や特性に応じた消費者教育の内容の例



消費生活に関する情報提供や 各種講座・イベントなどを行っています

ウェブサイト

名古屋市消費生活センター
情報ナビ
コアラのハッピー



<https://www.seikatsu.city.nagoya.jp/>

Twitter



@nagoyashishouhi

相談事例や消費生活に関する知識などを掲載しているほか、
講師派遣や消費生活センターで行う講座、各種イベントなど
についての情報を発信しています。

くらしの情報プラザ

名古屋市消費生活センター内にある施設です。消費者学習と交流の場として提供しています。消費生活に関する展示や、図書やDVDなどの貸出しも行っています。



「消費者」としてできること ～SDGs行動チェックリスト～

声をあげる ～相談・意見発信～

✓	商品やサービス、契約のことで困ったら 消費生活センターに相談する
✓	商品やサービスについての意見を 企業のお客さま相談室などに伝える
✓	消費者団体の活動に参加したり、 適格消費者団体などへ情報を提供する

地域でつながる ～見守り・地域参画～

✓	高齢者など周囲の人へ消費生活についての 情報を伝える(話題にする)
✓	高齢者・障害者・子どもなどのサポート活動に参加する
✓	商品やサービスについての意見を 企業のお客さま相談室などに伝える
✓	地域活動に参加して地域の人とつながる

すすんで学ぶ ～自立した消費者へ～

✓	テレビ、新聞、インターネットなどで 消費者トラブルに関する情報を集める
✓	買い物をするときは、表示や規約、 取扱説明書をよく読む
✓	消費生活に関する講座やイベントに参加する

できることから始める ～買い物で、持続可能なくらしをつくる～

✓	エシカル消費に取り組む ※エシカル消費については裏表紙をご覧ください
---	---------------------------------------

「エシカル消費」とは？

エシカル消費とは、「地域の活性化や雇用なども含む、**人**や**社会**、**環境**に配慮した消費行動」⁽¹⁾であり、「消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと」⁽²⁾をいいます。



エシカル消費は**持続可能な開発目標 (SDGs)**の**目標12「つくる責任 つかう責任」**の達成にもつながります。



人への配慮

- 障害がある人の支援につながる商品 (福祉作業所の製品など) を選ぶ

環境への配慮

- エコ商品や認証ラベルのある商品を選ぶ

エコマーク

環境保全に役立つと認められた商品に付けられるマーク



MSC「海のエコラベル」

水産資源や環境に配慮した漁業で獲られた水産物に付けられるラベル



※掲載しているマークは一例です。

社会への配慮

- 寄付付き商品 (売上金の一部が寄付につながる商品) を選ぶ
- フェアトレード商品を選ぶ

国際フェアトレード認証ラベル

国際フェアトレード認証は、開発途上国の原料や製品が公平な条件で取引されていること等を認証する制度です。



地域への配慮

- 被災地の産品を買う
- 地元の産品を買う (地産地消)

出典 (1) 消費者庁：消費者基本計画(令和2年3月31日閣議決定)

(2) 消費者庁：エシカル消費とは(https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/public_awareness/ethical/about/)

エシカル消費リーフレット「エシカル消費ってなあに？」(消費者庁)(https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/public_awareness/ethical/material/) ももとに名古屋市作成

知っておこう！ 消費者の「権利」と「責任」

消費者の 8つの 権利

- ① 基本的な需要が満たされる権利
- ② 健康な生活が確保される権利
- ③ 安全が確保される権利
- ④ 選択する権利
- ⑤ 必要な情報を知らされる権利
- ⑥ 意見が反映される権利
- ⑦ 消費者教育を受けられる権利
- ⑧ 被害の救済を受けられる権利

消費者の 5つの 責任

- ① 批判的な意識を持つ責任
- ② 主張し行動する責任
- ③ 環境に配慮する責任
- ④ 社会的弱者に配慮する責任
- ⑤ 消費者として団結し連帯する責任

名古屋市はSDGs未来都市です